

# 平成24年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## I 自己評価

<p>1 学校教育目標</p>	<p>誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 生徒の興味関心を喚起して確かな力を身に付けさせる教育の推進 (2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進 (3) 生徒一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</p>	
<p>2 評価する領域・分野</p>	<p>◇特別活動</p>	
<p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>	<p>・学校行事の充実について、保護者は9割8分が、「あてはまる」と回答しているが、生徒の回答は6割5分である。昨年の8割を大きく下回ったのは、国体のため内容を縮小したことによると思われる。 ・部活動の活発さについて、生徒は9割5分以上が「あてはまる」と回答しており、変わらぬ充実度がうかがえる。保護者の「あてはまる」の割合は8割5分。昨年8割を切ったものが例年並みにもどったが、生徒の運動系部活を避ける傾向などを鑑み、引き続き働き掛けは必要。 ・ボランティア活動の啓発・機会提供について、保護者は9割、生徒は8割が「あてはまる」と回答している。生徒の割合が昨年より1割増し、一昨年並みに戻った。清掃活動などへの取組み強化の影響か。</p>	
<p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>	<p>◇豊かな人間性や自ら学び考える力などの「生きる力」や「活力」ある生徒の育成に努める。〈リーダーの養成〉 ◇生徒が自発的、自治的な活動を展開し、集団や社会の一員としての自覚を深め、自己を生かす能力が育つよう指導・援助を行う。〈所属感の高揚・自主的精神の育成〉 ◇ホームルーム活動を中心とした特別活動全般を通して、学校生活への適応及び円滑な人間関係の形成を図るとともに、人間としての在り方・生き方に関する指導を充実する。〈ホームルーム活動の活性化〉</p>	
<p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>	<p>・全職員による行事への参加体制を組織する。 ・生徒が自発的に活動できる機会を提供し、分掌外職員に呼び掛ける。</p>	
<p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p>	<p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p>	
<p>◇生徒会 (1) 生徒会活動への積極的な参加・協力を図るため、生徒会執行委員会・議会・各種委員会等の活動が円滑に行えるよう指導を行う。 (2) 各種生徒会行事への積極的な参加を促し、生徒の学校・学級への所属感及び自発的・実践的な態度を育てる。 ◇特活 (1) ホームルーム活動を通じて学級の一員としての自覚を深め、お互いを高め合う人間関係を形成する。 (2) 部活動への積極的な参加を促し、達成感及び自己成就感を味わわせることで、自己を生かす能力を育てる。</p>	<p>(1) 生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事を計画・運営し、円滑に進めることができたか。 (2) 生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事の取り組みに、充実感を覚えたか(アンケートによる)。 (1) 球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事に参加するなかで、クラス単位の取り組みに、充実感を覚えたか(アンケートによる)。 (2) 年間を通して、部活動に積極的に参加したか。</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p>	<p>9 評価視点</p>	<p>10 評価</p>
<p>◇生徒会 ・毎週、定例の執行部会を開き、連絡の徹底及び生徒の自発的な活動を促し、各種行事に執行部が積極的に関わるよう、事前のマニュアル作り・当日の業務内容確認を行い、運営した。 ・毎週、火曜日から木曜日を「あいさつ運動」の日として、特活部職員・執行部員各クラス議員の当番</p>	<p>①定例の執行部会を生徒が自主的に運営でき、各種行事が円滑に行えたか。 ②生徒のあいさつする習慣は定着したか。</p>	<p>A B C D A B C D</p>

<p>で登校する生徒にあいさつを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事に、取り組んだ。</li> </ul> <p>◇特活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の部活動実施計画・実施報告の速やかな配布</li> <li>回収を行った。</li> <li>部活動の成果をDaikou-svrで管理し、各部署で利用できるような形態を工夫した。</li> <li>部活動の表彰伝達・壮行会を執行部や応援団員の生徒の手で行うことで、生徒のリーダーとしての意識を高め、各部の努力を他の生徒にも知ってもらうことで、部活動への積極的な取り組みを促した。</li> <li>転部を申し出る、また、所属はしているが参加していない1年生の生徒に部活動への取り組みについて指導を行い、部活動への参加意欲を喚起した。</li> </ul>	<p>③充実感を覚えたか（アンケートによる）</p> <p>④部活動の活性化ができたか。</p> <p>⑤1年生の部活動全員加入を実質的に実現できたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>
<p>11 成果 課題</p>	<p>○生徒総会、球技大会、運動会、文化祭等生徒会行事を円滑に運営できた。</p> <p>○執行部の生徒達に、学校のリーダーとしての自覚を促したことで、積極的な活動ができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲文化祭のあり方（取り組む姿勢）について、何のための特別活動なのかの目的確認も含め、学校全体で再度検討する必要がある。</li> <li>▲1年生の部活動参加について、係から直接該当生徒に指導してきたが、引き続き、学校全体で、対策を検討する必要がある。</li> </ul>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で、特別活動に対しての意義・目的を再度確認し、組織構成、人員配置、協力体制を確立する（生徒の成長という視点での学校行事の位置づけ等）。</li> <li>部活動を3年間続けさせることに関しては、部員の活動状況の情報を共有し、クラス担任・科の職員を含め学校全体、多方面から部員（生徒）に働きかけをする体制を常態化する。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成25年1月31日

### 【意見・要望・評価等】

・国体が開催され運動会が中止になったことがあるが、本校は実施できて良かったと思う。